



私の街こまつ



遠いは近い  
つながる小松

THE KOMATSU CITY COUNCIL NEWS

2025  
**2.1**  
NO.216

# 議会だより

\\ Topic! //

## 12月議会補正予算

## 15億2,068万5千円を可決



### Contents

12月定例会	2	常任委員会 審査報告	15
市政Q&A		特別委員会 調査報告	17
代表質問・一般質問	3	議会活動報告	18
予算決算常任委員会総括質疑	14	議決結果	20
撮影 小松大谷高等学校写真部 2年生		吉田 来未さん	



市議会HP



マチイロ

# 12月定例会

会期〈11月25日～12月23日〉

11月25日 閉会

市長提出議案  
予算案 4件  
条例案 5件  
その他議案 7件

12月4日 代表質問 (3人)

一般質問 (3人)

5日 一般質問 (8人)

6日 一般質問 (5人)

12日 予算決算常任委員会総括質疑

13日 各常任委員会 (分科会)

16日 各特別委員会

19日 予算決算常任委員会

23日 閉会

市長提出追加議案 8件

議員提出議案 2件

その他議案 1件

※議案等の採決結果 (P20参照)

## 予算案をチェック

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。(P15参照)

### 令和6年度12月補正予算

一般会計 補正額 12億3,994万7千円

特別会計 補正額 1億2,480万円

企業会計 補正額 1億5,593万8千円

合計 補正額 15億2,068万5千円

一般会計の累計

555億8,446万7千円

全会計の累計

1,148億1,060万5千円

## 本会議の討論

橋本議員から以下の市長提出議案に対し、反対討論がありました。(P20参照)

議案第95号 令和6年度小松市一般会計補正予算(第6号)

議案第102号 小松市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

## 条例案等をチェック

市長から提出のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。(P16参照)

## 議員提出議案をチェック

議員から提出された議案のうち意見書については、可決された意見書を、内閣総理大臣をはじめ、関係機関に送付しました。(賛否はP20)

議案第11号 災害公営住宅の建設等に対する更なる支援を求める意見書

議案第12号 学校施設における防災対策への更なる支援を求める意見書

## 人事案件

人権擁護委員

出口 春一 氏 (矢田町)

玄田 朋恵 氏 (今江町)

の推薦に同意しました。



会派自民  
はいだ まさのり  
灰田 昌典 議員

代表質問 一括質問

# 宮橋市長の2期目の 出馬に向けて



動画で  
チェック

## ◆決意と抱負は

**Q** 具体的に示されたい。

**A** 若い世代の流れを変える新しいまちづくりにウラ日本から挑戦することで、本市を大きく飛躍成長させ、全ての世代が暮らし続けられる「生涯安心の小松」を実現させていく。

## ◆未来型図書館等複合施設について

**Q** 本市にとってこれまでにない大きなプロジェクトだと思うが、その予算と財源について。

**A** 概算事業費は約68億円、省エネ対策を追加実施した場合は約75億円と試算。管理運営費は年間約2億3,000万円。財源は国交省の補助金や地方債の活用を考えている。

**Q** 市民に支持される施設について。

**A** 市民や事業者等が参画するリビングラボでは、現在重要なライブラリーテーマ等の検討を進めている。リビングラボは開館後も地域課題の解決等の中心的な機能として位置づけ、市民に親しまれる未来型図書館を皆さんと一緒に作り続けていきたい。

**Q** 持続可能な施設について。

**A** 地域資源を結びつけ、価値を生み出しながら、人や文化、情報、活動の好循環を持続的につくっていくことを目指している。

## ◆熊出没状況と対策について

**Q** 小松市の約7割が森林であるが、まず熊の出没状況について。

**A** 今年度11月末現在で89件。

**Q** 生活圏に出没する熊対策について。

**A** 侵入防止柵やAI監視カメラの設置、奥山地域での熊の餌となる樹木の植林等。

**Q** 捕獲、駆除の取組について。

**A** 捕獲おりや電気柵を設置し、アーバンベアの積極的な捕獲や排除に努めている。

## ◆小松空港の将来像について

**Q** 国際空港小松を目指す中、小松空港国際化推進石川県議会議員連盟の香港・タイ訪問団の成果は。

**A** 香港では、来年夏ダイヤの運行再開の検討が明らかになり、タイではお互いの地域のPRの必要性が話し合われた。

## ◆ターミナルビルについて

**Q** 小松空港中期ビジョン策定検討委員会について、今後の方針は。

**A** ターミナルビル改築に関し、機能や増築等に係る課題の整理を進めていく予定。

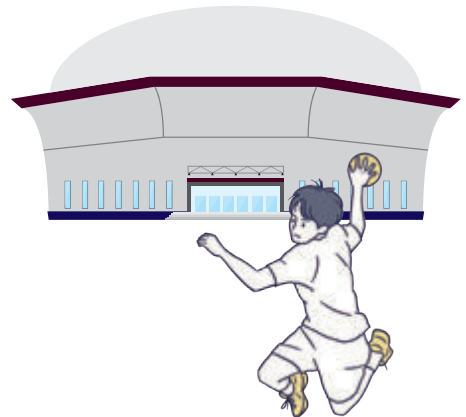
**Q** 1階国際線側、2階搭乗口の拡張については。

**A** 検討委員会では国際線ロビーの拡張をはじめ、施設整備に関し様々な意見が交わされている。

## ◆アリーナ建設構想について

**Q** 規模は1万席を想定し、ハンドボール以外にも音楽コンサートや各種イベントにも対応可能な利用を見込んでいるとのことであり、また、コンベンション機能を持つホテルやレストランといった空港周辺のにぎわいが期待される。本市として、地方創生の観点から国による手厚い支援が必要と考えるが、市長の見解は。

**A** 国や県等と連携した取組が必要だと思っている。ただ一方で、民設民営が大前提にあるので、その中で国や県含めてどういった形で支援できるのかを協議していきたい。





小松志士の会  
みやにし けんきち  
宮西 健吉 議員

代表質問 一括質問

# 来年度の予算編成に向けて



動画で  
チェック

## ◆来年度の予算編成に向けて

**Q** 103万円、106万円、130万円の壁について市長の見解は。

**A** 壁が撤廃されれば、税収減は発生するものの、経済対策としての減税政策が結果として経済発展につながり、その果実として税収増を導き出すことを期待している。

**Q** 子育て支援、経済の好循環を目指す本市にとってエンゲル係数が必要であると思うが見解は。

**A** 物価高による国民の生活対策は、本来、国が政策立案・実施すべきものとする。本市では、物価高対策のみならず複合的な政策を立案・展開し、今後もよりよいまちづくりに取り組んでいく。

## ◆農業問題、米政策について

**Q** 農業用施設の維持管理について地元（農家）の負担軽減をお願いしたいが見解は。

**A** 持続可能な地域農業を実現するためにも、生産者や関係団体から意見を聞き、負担軽減が図れるよう、国・県に働きかけていく。

**Q** 生産調整枠を大豆や麦だけでなく、輸出米にも割り当てすべきである。見解は。

**A** 農業者の所得向上につながるよう、これまで以上に市、JA、農業者が三位一体となり、本市の農業を持続可能なものになるよう取り組んでいく。

## ◆ふるさと納税寄附額10億円の目標について

**Q** 来年4月に市長直轄ポストとして最高マーケティング責任者（CMO）1人を年収1,000万円以上で任用し、任期は3年とのことだが、10億円達成できるのか。

**A** 新しく就任されるCMOには、新しい目線で小松の魅力を見定め、ふるさと納税で勝てるマーケットづくりをしていただき、寄附額10億円を目指していく。

## ◆末広陸上競技場について

**Q** 昭和31年開設以来、第2種公認の陸上競技場が能登半島地震の影響で、公認の競技場として大会が開けなくなっている。企業版ふるさと納税を活用してはどうか。

**A** 部分的な復旧工事でも第2種公認が継続できる可能性が出てきた。最終的な公認継続の可否及び継続に必要な追加工事費用が分かるのは、2月頃になる見込み。



末広陸上競技場

**Q** 2023年の小中学生の不登校は34万人を超えたとある。教員の世代交代による力量低下や教員不足が影響しているのではないかと。

**A** 知識や経験の豊富な退職職員であるSSWによる学校訪問や研修の機会を通じて、指導力の向上に努め、組織的に対応するよう指導している。

**Q** 中学校の部活動について、地域移行のメリット・デメリットは。

**A** メリットは生徒が取り組みたいスポーツの種目が増えること。デメリットは様々な制度構築上の課題があり、指導者や練習場所の確保など、解決に向けた調整が必要である。





自民党こまつ  
かわさき じゅんじ  
川崎 順次 議員

代表質問 一括質問

夢が感じられる2期目  
へのチャレンジ予算!!  
認知症対策、地域全体で支える仕組みを!



動画で  
チェック

◆2025年度予算編成について

**Q** 4年前55の公約を挙げ、子育て支援・企業誘致等を進め、来年度予算は市長選のため暫定的なものになるが具体的な方針は。2期目への大胆なチャレンジ予算が必要。

**A** 先送り体質に終止符を打ち、様々な課題に対して熟慮しつつも逃げずに決める力、そして決めたことを覚悟して進める力こそが、為政者また小松市全体、まちにとっても重要なことと考えている。

次の任期においても市民の皆さんに負託を得ることができたならば、激動する時代の中で、2040年ビジョンに掲げた未来像の実現に向けて、ウラ日本からのチャレンジャーとして本格予算に取り組んでまいりたい。

◆東京で開催のイノベーターズ・ミートアップ小松について

**Q** 約100人も多彩な参加者が集いどんなアプローチがあり、このご縁をどう生かしていくのか。

**A** この取組によって小松市へのファンが増えていくこと、100年後の小松の新しい歴史を切り開いていく一歩につながっていくことを期待している。

◆住んでみたい街、住み続けたい街について

**Q** 11月発表の「住み続けたい街ランキング北陸版」では、小松市は県内5位であった。住み続けたい街となるための政策は。

**A** 現在策定中の総合戦略のトップテーマは、「若い世代の流れを変える好循環のまちづくり」である。新たな産業をつくり、仕事を得た若い世代が小松に住み、家庭を築き、子供たちを育てていく、その大きな流れをつくり出していくことこそが本市の成長発展につながってくるものである。

◆大学生に対する奨学金について

**Q** 企業と連携し、卒業後にUターン就職した場合の返済支援を。

**A** 現在、奨学金制度を設けており、より利用しやすいように制度見直しを含めた検討を行っていく。また、地元経済界とも協力しながら、引き続き取り組んでいく。

◆首都圏などで多発している連続強盗と闇バイトについて

**Q** どのような政策を講じるか。

**A** 小松警察署等と連携し、防犯に対する啓発を行っている。

**Q** 犯行を食い止める抑止策は。市内に防犯カメラの設置を進めよ。

**A** 道路、ごみ集積所での防犯カメラ設置に係る支援を行っている。

**Q** 学校で注意喚起が必要。

**A** 非行被害防止講座等で闇バイトの危険性を具体的に折り込み、注意喚起を促していく。

◆認知症不明者をどう減らし守るか

**Q** 認知症にどう取り組むか。QRコード付き名札の導入検討を。

**A** 捜索協力ツールの一つとして今後考えていきたい。

◆高齢者宅や学校周辺の見守り、災害時のドローン活用について

**Q** こまつ空の宅急便を立ち上げては。ドローンポートの整備が必要。

**A** 松東地区などにおいて、ドローンを活用したスマート物流の実装に取り組んでおり、着陸ポイントを10カ所開設。

**Q** 高齢者への医薬品の輸送、災害時の物資輸送、見守り、防犯支援の可能性は。

**A** ドローンをはじめとする先進的な技術を効果的に活用する取組を今後も進めていきたい。

市民の生活と未来への  
支援策



よしぼ ぶんご  
吉柴 文悟  
議員

一括質問



動画でチェック

◆被災し小松市で生活されている方への  
ケア

**Q** 能登半島地震の被災者への支援について。

**A** 11月時点で103世帯254名の支援世帯がある。小松市社会福祉協議会内の地域支え合いセンター小松が、被災者の見守り活動や日常生活上の相談を受け支援を行う体制を整えている。

**Q** 被災者への心のケアはどのように行われているか。

**A** 子供たちへの対応は、小中学校においてスクールカウンセラーによる心のケアを行うほか、発災から1年の節目に起こるアニバーサリー反応などによる影響にも注意深く見守りを行っている。被災者支援はその時々により必要とされる情報や支援が変化するため、被災者が様々な情報を的確にキャッチし、スムーズに各種相談につなぐことができるよう、ホームページなどを充実させていく。

◆スタートアップ小松

**Q** 地域公共交通のリ・デザイン（再設計）について。

**A** 将来的には運転士不足や路線バスの減便等も考えられるため、自動運転バスや公共ライドシェアなど新たな交通手段を積極的に導入している。今後は住民ニーズの調査やこまつ地域交通プランの見直しを行い、持続可能な公共交通の構築を目指す。

**Q** スタートアップ支援の取組について。

**A** 起業家育成を支援するこまつスタートアップラボを実施している。将来的にはビジネス創造プラザ内のインキュベーションルームや市の遊休施設を活用するなど、市内のスタートアップ創出を支援していきたい。

**Q** デジタル化に向けて専門的なリーダーシップをとるCDO（最高デジタル責任者）の必要性を問う。

**A** まずは、住民情報システムの標準化や窓口支援サービスの推進を着実に進めたい。CDOの設置については、今後の検討課題としたい。

尾小屋鉱山資料館を核とした  
周辺持続活性化構想策定につ



ふかた ひろとも  
深田 博智  
議員

一括質問



動画でチェック

◆尾小屋鉱山資料館周辺持続活性化検討会の結果について

**Q** どのような課題が見えてきたか。

**A** 歴史・文化の面では、尾小屋鉱山の遺構などが部分的にしか公開されておらず、鉱山が繁栄した時代のスケール感やストーリーが感じ取れない。カラミ等の調査が十分にされておらず、どの範囲まで鉱山が広がっていたのか把握できていない。観光活用の中では、資料館の水道やトイレ、駐車場の整備が十分ではない。学校や団体による学習、体験等の場やスペースがない。人づくりの面では、現地で活動するボランティアの後継者不足、地域人口の減少などが挙げられる。

◆ポップ自動車展示館について

**Q** イベント来場者数は。

**A** 気動車、電動トロッコの運行やカラミ遺構のガイドツアーは非常に多くの方に人気を博しており、天候によるばらつきが見られるものの、毎回300名から500名の方に訪

れていただいている。県内をはじめ、北海道、関東、東海、信州、関西、中国地方など全国から鉄道やトロッコ目当ての訪問者が多く、常連客も見受けられる。

**Q** 維持管理については。

**A** 車両整備等に必要な資材の調達やボランティアの休憩場所の確保などといった課題があるが、これらについて随時協議して対応していきたい。

**Q** ポップ自動車展示館を大倉岳高原スキー場の第5駐車場奥に移設しては。

**A** 移設することにより、施設機能や体験イベントの充実などに効果があると考えている。一方で、資料館やマインロードとの役割、機能の分担、利用者動線の在り方を踏まえた施設規模や事業費、財源など総合的に検討する必要がある。持続可能な具体的な方法について、先月立ち上げた構想策定委員会の中でしっかりと検討し、実現に向けて取り組んでいきたい。

◆乳幼児健診について

**Q** 集団健診の発達検査の内容と検診率について。

**A** 精神発達や言語理解など、年齢に応じた発達の検査として、1歳6か月時は、1対1の関わりの中で理解度を確認し、3歳児では、1対1の関わりでの確認に加え、強いこだわりの有無などを確認している。健康検査の受診率は99%を超えており、参加できなかった家庭には電話で状況を確認している。

**Q** 発達支援センターえぶりいでの相談件数の推移は。

**A** 令和元年度には18歳以下で342名（未就学児童は188名）、令和5年度には、18歳以下で378名（未就学児童324名）の相談があり、未就学児の相談は1.7倍に増加した。

**Q** 今後の発達支援の拡充策について。

**A** 医療・福祉・教育などの関係機関による連携と、児童の発達過程での切れ目ない支援を目的とする協議会を今年度中に設置する。

幼児期に発達の遅れを不安視する家庭が増えてきている現状を鑑み、5歳児健康検査を

実施し、全ての児童が個々の能力を最大限に高めることができる体制の構築を目指す。

◆いつまでも元気にいるための生きがいづくり

**Q** 事業所サロンについて。

**A** 介護事業者が実施主体となり、公民館や事業所の空きスペースで活動する。サロンの企画・運営は、地域の住民ボランティアの参画を得て、地域資源を活用し行う事が要件となっている。

**Q** 地域資源を活用しての環境づくり。

**A** 地域資源を活用した高齢者の生きがいづくりの取組として、通いの場の創出支援や地域サポートクラブのサポーターの育成などを行っている。高齢者が社会活動に参加したり、社会的役割を持つことが、介護予防につながるというエビデンスがある中、生活の身近な範囲にある地域資源を活用して、いろいろな人が関り、支え合う集いの場を増やしていく取組が地域において広がる事を期待し、市も引き続きその役割を担ってまいりたい。

乳幼児健診について



さいとう かずみ  
斎藤 和美  
議員

一括質問



動画でチェック

◆北陸新幹線「米原ルート」再考について

**Q** 行政として再考の取組は。

**A** 拙速に詳細ルートを決めようとする現在の流れを止めることが必要であり、近隣首長や議員等と連携し、関係機関に要望活動を行いたい。政府与党には、米原ルートも含めたあらゆる選択肢の検討を求めている。

◆千松閣廃止に伴う代替機能について

**Q** せせらぎの郷、市民センターを改修し、施設の利便性確保の取組は。

**A** 優先度の高い施設改修を順次行っており、代替機能などのハード整備は困難。利便性の向上やソフト面の充実などを行っていききたい。

**Q** 湯ったりシニアふれあい入浴助成券の年間利用回数の増加は。

**A** 年間利用回数を増やす方向で考えたい。

**Q** 木場潟公園に温泉複合施設を誘致しては。

**A** 県による第2期整備についてのアンケート調査が実施されたと聞いている。市

としても、南加賀地域の交流拠点として、さらなる魅力向上に期待している。

◆防災体制の強化について

**Q** 地域防災計画の今後の取組は。

**A** 今後の国・県の防災計画見直し後、地域防災計画の見直しに着手し、備蓄計画の策定や避難所の適正配置など、さらなる防災対策強化に取り組む。

**Q** 避難所運営マニュアル策定で地域住民にどのように活用してもらうのか。

**A** このマニュアルを基本に地域住民で話し合い、各校下・各町内会の実情に合ったマニュアル作成をお願いしたい。

◆除雪作業について

**Q** 除雪車のGPS搭載メリットは。

**A** 現在地や進捗状況を把握し、運行管理の効率化が図られる。

**Q** 除雪機械オペレーターの担い手不足など除雪体制の取組は。

**A** 除雪オペレーターの育成を支援する補助金制度を制定している。

北陸新幹線の「米原ルート」再考と千松閣廃止に伴う代替えについて



むらなか ひろし  
村中 洋  
議員

一括質問



動画でチェック

安心・安全で、好循環を生み出すまちづくり



なかにし はじめ  
中西 肇  
議員

一括質問



動画でチェック

◆闇バイトによる犯罪対策

**Q** 匿名・流動型犯罪による犯罪が多発している。石川県警察本部では犯罪の摘発や抑止、グループの壊滅を図るために「トクリュウ総合対策プロジェクトチーム」を立ち上げた。安心・安全なまちづくりについて、見解を伺う。

**A** 本市においても小松警察署と連携して様々な取組を進めている。今後とも、関係機関と連携し、詐欺や犯罪のない安心・安全なまちづくりに向けて取り組む。

◆急傾斜地崩壊危険区域の危険木

**Q** 急傾斜地崩壊危険区域内には、杉や雑木が生い茂り、倒木により民家に被害を与える危険性がある。危険木対策について、見解を伺う。

**A** 民有地の危険木等の対応は、土地所有者の責任であるが、市民の安心・安全に関わる場合は、土地所有者の負担軽減、対象範囲、判断基準等を整理し、補助制度などを検討する。

◆小松辰口線の新橋の名称

**Q** 主要地方道小松辰口線の整備事業で梯川に架かる新しい橋の名称について、伺う。

**A** 地元町内会に名称の提案を依頼した。その結果、遊泉寺大橋で決定した。橋の銘板の文字は、国府小学校の児童に依頼する。

◆プラスのスパイラルについて

**Q** 小松市が継続的に成長、発展するために好循環を生み出す一連の施策について、見解を伺う。

**A** 産業創生により雇用が拡大する。これにより移住者が増えて定住に結びつく。やがて新しい家族が増え、人流の好循環を生む。質の高い生活空間により、さらなる産業が生まれて、プラスのスパイラルで好循環のまちづくりを大きく加速する。雇用環境を整えることを起点にした好循環のまちづくりを目指す。

関係人口の創出・拡大に向けて



おかやま あきひろ  
岡山 晃宏  
議員

一括質問



動画でチェック

◆二地域居住について

**Q** 関係人口の拡大について本市の取組は。

**A** 若者や女性の働きやすい仕事の創生や企業誘致、断トツの子育て支援などによる定住政策も進めつつ、本市と関わりを増やすことに資する取組も展開していきたい。

**Q** 住民票を異動せず他地域への公立小中学校へ学籍を異動でき、滞在先の小中学校に通学が可能となるデュアルスクールについて。

**A** 二地域居住であれ、その他の理由であれ、児童生徒が区域外就学により教育的に不利益を被らないことを第一に考え対応していく。

**Q** 二拠点目の地域では、課税されない代わりに市民サービスは受けられない。本市にふるさと納税してもらった方に行政サービスを提供しては。

**A** 二地域居住者における住所地以外での暮らしを支える一つのアイデアではあると考えるが、現状では課題が大きいと捉えている。国は環境整備を始めたところであり、

今後住民票に準じた証明制度とそれにひもづいたサービス受給及び負担の仕組みが議論されていくのではないかと考えている。

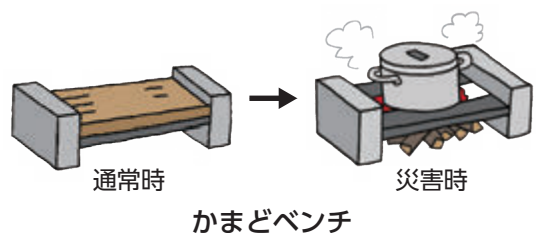
◆防災公園の整備について

**Q** 指定緊急避難場所となっている公園は。

**A** 芦城公園、小松運動公園、さわ池ふれあいパークなど11か所。

**Q** 指定緊急避難場所である公園に、一時的にしろ避難するとすればそれなりの機能が必要だが、機能面の現状や今後の取組は。

**A** 都市公園施設長寿命化計画に基づいた改修、更新時に合わせ、防災機能を高める整備を進めていきたい。



かまどベンチ



◆特定任期付職員について

**Q** 現在採用している2名について、これまでの取組と、民間人を活用して得られたことやその評価は。

**A** 公民等連携推進担当者は、これまでに12の企業と連携協定を締結。小松駅観光交流機能整備担当者は、Komatsu九（ナイン）の立ち上げでハード、ソフト両面で企画設計に取り組んでいる。市職員にも大変よい影響を与えている。

**Q** ふるさと納税寄附額を大幅にアップするために公募するCMO（最高マーケティング責任者）の採用方法と今後の進め方は。

**A** 12月10日から公募を行い、書類選考と複数回の面接による試験を実施し、2月中頃には内定、4月1日に着任の予定。

**Q** CMOの報酬について、成果型の要素が必要と考えるが見解は。

**A** 特定任期付職員は、地方公務員法上の一般職となり、勤勉手当等は別として報酬の増減に実績や成果を反映させることはできない。

◆ふるさと納税寄附額アップに向けた今後の取組について

**Q** 市長直轄専属組織について、職員の選定基準や、専門性・機動力を高めるための方針は。

**A** 専任職員、兼務も含め、CMO、会計年度任用職員の体制を想定し、これから検討する。

**Q** これまでの中間事業者と、今回公募する中間事業者の違いは。

**A** 今回の中間事業者は、CMOのバックサポートのため、小松市が契約するふるさと納税ポータルサイトの管理など、高い専門分野に特化した能力が必要となる。

**Q** 市長直轄専属組織と中間事業者の役割分担と連携方法は。

**A** CMOは、自ら戦略を立てていくポジションであり、中間事業者には、CMOの戦略に従いながら、高い専門分野、サイト管理に特化してもらう予定。

**Q** 目標達成に向けたマーケティングなど、本市の戦略は。

**A** CMOが働きやすい支援を行っていき、市場の中で勝てるマーケットをつくっていきたい。

ふるさと納税寄附額  
10億円の達成に向けて



なんとう 南藤 陽一  
議員

一括質問



動画でチェック

◆防災備蓄品の整備について

**Q** 避難所の環境改善にむけて。

**A** 市では、能登半島地震の検証において、災害の長期化に対応できるよう、避難所の運営強化について課題と改善策を整理した。また、避難所を地域の方でも運営できるよう地域版の避難所運営マニュアルを作成し、市ホームページで公表している。

令和4年8月大雨や能登半島地震での経験を生かし、被災者の良好な生活環境を確保するため、国の方針を参考に避難所の環境改善に取り組んでまいりたい。

**Q** 平時における資機材の購入と有効活用。

**A** 国の方針では、トイレカーなどの資機材について、官民連携による登録制度を創設するとされ、また、地方創生関係の交付金を活用した新たな枠組みも検討されており、国の動向を引き続き注視していく。

トイレカーの導入に当たっては、費用や管理面の課題、県や他市の動向を見ながら、自治体間の広域的な配置などの運用を踏まえ、総

合的に判断する必要がある。また、平時の活用についても、常設の場合には衛生面、管理面に課題があり、イベントなどの一時的な利用方法も含めて、今後の検討課題と捉えている。

能登半島地震では、長期化する避難生活において、トイレが問題となり、トイレカーが有効に活用されたが、各家庭においても初動対応に有効な携帯トイレなどの自助の備えをお願いしたい。

**Q** 自然災害が多発する中、被災者の生活を支えるための体制整備。

**A** 今年度、県において地震被害想定が27年ぶりに見直される予定。これに合わせ、来年度、小松市地域防災計画の改訂、避難所の再配置、備蓄計画の策定などを行う。

今後も、自然災害時の安心・安全の確保を図るため、防災士の会などとの連携を高め、自助、共助の地域防災力を合わせて、「誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ」を目指してまいりたい。

自然災害時の  
安心安全の確保



うめだ としかず 梅田 利和  
議員

一括質問



動画でチェック

未来型図書館複合施設  
ができる2030年まで



よしもと しんたろう  
吉本 慎太郎  
議員

一括質問



動画でチェック

◆これからの5年間の文化施設・機能のありようについて

**Q** 今議会、未来型図書館複合施設の開館が、小松市制90周年の節目となる2030年（令和12年）であると示された。では逆算して、これからの5年間、震災により失われた小松市公会堂や小松市民ギャラリーフレの代替施設・機能をどこに求めているのか。

**A** 利用目的や形態に応じた市内や近隣自治体の代替施設の案内を行っている。ホール機能を有する施設としては、石川県小松市團十郎芸術劇場うららや小松市民センター等。ギャラリー機能を有する施設としては、Komatsu九（ナイン）のギャラリーやサイエンスヒルズこまつのわくわくホール、民間施設等。

**Q** 文化団体は新たな会場探しを余儀なくされ、現状のままでは、小松の文化活動の停滞が懸念される。民間施設の活用も視野に入れた使用料補助等の措置が必要ではないか。

**A** 既存の補助制度や各種文化事業では、施設使用料も補助対象としており、今後も制度を活用していただきながら、市民の

皆さんの力によって小松の伝統文化、芸能を継続し、守り伝えていただきたいと考えている。

**Q** 来る新時代を見据えながら、社会経済はもとより、文化成熟度も右肩上がりさせていくことが肝要である。

**A** 今後の人口減少、少子・高齢化時代においても、市民の文化芸術活動が継続されるよう、施設整備の観点にとられることなく、市民共創で小松文化を育み、守り伝える視点を大切に取り組んでいきたい。



震災により使用不可になった小松市公会堂  
新たな施設・機能が求められる

駅前アーケードのこれからについて



たかの てつろう  
高野 哲郎  
議員

一括質問



動画でチェック

**Q** 建設から50年が経とうとしているアーケードだが、経年劣化は言うまでもなく、毎年の雪や台風によるダメージの蓄積、それに加え能登半島地震の影響もあり、アーケードの安全を担保できる時間はなくなっている。それに加え、アーケードの責任者である商店街も加盟店の減少、店主の高齢化の問題を抱えており、大変厳しい状況である。市長の所信表明でアーケードについて言及いただいた事に感謝するが、これからどのようにご協力いただけるのか。

**A** 利用者の安心・安全の確保と将来のまちづくりに向けて、市も協力し進めていくべき課題と捉えている。老朽化が進み、耐震改修が困難なアーケードの状況が民間投資の妨げや地価上昇の抑制につながるおそれがあることから、早期に解決できるよう、今後、費用負担なども含め、地元との役割分担について協議していきたい。

**Q** 商店街の立地は小松駅から近く、空港や高速道路まで車で10分。社会インフラもそろっており、新たな投資を呼び込むポテンシャルは十分あると考えるが、駅前地区

の将来像をどのように考えているのか。

**A** 小松駅周辺は、来訪者にとって、小松市の玄関口となる非常に重要なエリアである。本年3月の北陸新幹線開業後、小松駅東地区複合ビルでのオフィス誘致やホテル等の建設計画が進む中、駅周辺エリアは都市機能を形成する上で必要な土地利用の需要が高まっており、さらに土地の高度利用を誘導していきたい。



早急な対応が求められるアーケード

◆来年度予算編成要望について

**Q** 小松市国民健康保険加入者を対象にした人間ドック、脳ドックの聴力検査実績について。

**A** 65～74歳の方で約600名が受診。後期高齢者脳ドックの方は、約250名が受診。

**Q** 一般市民対象に聴力検診の機会が持てるよう、工夫を求める。

**A** 幅広く検診として実施するには、検査機器所有の医療機関に限られているという課題がある。

**Q** 聴こえ8030運動を取り組むためにも、各種イベントに聴力スクリーニング検査の機会が必要だ。

**A** 様々な機会、場所を捉えて、聞こえの大切さについて周知、啓発をしていきたい。

**Q** 高齢者の補聴器購入費に助成制度設置の検討を求める。

**A** 現段階において、市単独での助成は、補助の有効性、補助の条件の制度設計、財源等に大きな課題があり、実施は難しい。

◆千松閣後の高齢者福祉センター設置について

**Q** 請願が賛成多数で可決されている。千松閣に代わる新しい老人福祉センター設置の願いの請願をどう受け止めているのか。

**A** 仮に新たに整備する場合、ライフサイクルコスト総額は30億円程度と見込まれる。行政需要が複雑・多様化する中、今後の生産年齢人口の減少、税収の厳しい見通し、現役世代の負担等も併せて考慮すると、利用が一部の方に限定され、さらにかつ減が見込まれる公共施設に多大な費用を投じることは非常に難しいと考えている。

**Q** 新たな高齢者福祉センター設置のための調査研究費を求めたい。

**A** 市施設はもとより、民間施設の利用促進の面からも工夫を検討していきたい。



高齢者の補聴器購入費に助成制度設置を

加齢性難聴者の社会参加に向けた取組について



はしもと よねこ  
橋本 米子  
議員

一括質問



動画でチェック

◆公益通報者保護法について

**Q** どのような法か。

**A** 公益のために通報した者を守るための制度。

**Q** 市の体制整備は進んでいるか。

**A** 平成18年に要綱を制定し、以後17年余り改正はしていない。

**Q** 要綱を法改正への対応を含めて精査し、改正していただきたい。

**A** 精査をし、改正する。

**Q** 従事者の研修への参加、職員への周知、研修実施を提案する。

**A** 職員への周知、研修だけでなく、実際に通報があった場合に適切に対応できるよう取り組む。

**Q** 3号通報への整備義務はあるか。

**A** 窓口整備義務はない。必要に応じて調査を実施し是正を図るなど、事業所として適切な対応を取る必要がある。

**Q** 兵庫県の文書問題でみられたような文書が来た場合への対応は。

**A** 1号や2号より要件が厳しい3号通報に当たるか判断が必要と思うが、いわゆる怪文書については、内容を精査し、対応の必要性の判断をきちんとしたい。

**Q** 兵庫県の公益通報への対応の正当性をめぐり、議会の対応に怒った県民が知事を再選させるという、歴史に残る大きな事件になった。ネットメディアが果たした役割は大きい。兵庫県の判断の正当性についてどう考えるか。

**A** 現在議論されているところであり、答弁は難しい。

◆年収103万円の壁

**Q** 市長の子育て政策や移住促進を踏まえて同施策への考えは。

**A** 現役世代の負担増や労働力不足が進む中、年収の壁が働く意欲を抑制するのは社会にマイナスと考える。所得増につながる政策を進めることは、課題を先送りしないという意味で大変意義があり、賛同する。一時的な減収や市債増加があるが、現役世代の手取り増が地域の活性化に繋がり、経済の好循環を生むと期待している。

兵庫県の文書問題と公益通報者保護法について



きむら けんじ  
木村 賢治  
議員

一問一答



動画でチェック

と公会堂について  
稚松小学校の施設整備



はまぐち じゅんや  
濱口 淳也  
議員

一問一答



動画でチェック

◆稚松小学校の施設整備

**Q** 建て替えに関する施設整備は、現在の規定ではどのようになっているか？

**A** 国庫補助で建て替え対象となるのは、耐震基準を満たさず危険な状態の学校や、統合により新規に学校を建設する場合である。また、平成27年3月に文部科学省が策定したインフラ長寿命化計画により、老朽化した施設の対策として、従来の改築中心の整備から建物を長くもたせる長寿命化への転換がなされた。具体的には、建築後50年程度で改築するのではなく、著しく老朽化が進む前の適切な時期、おおむね20年ごとに必要かつ適切な改修を行うことで、築80年程度まで建物を使用できることを目指すものである。

**Q** 今後の方向性について、市長の考えは。

**A** 新しい教育の在り方をしっかり体現できる校舎整備や施設の複合化等をはじめ、学校教育という現場だけではなく、放課後児童クラブあるいは中央公民館等の社会教育の分野においても地域の皆様が集まり、その地域のよりどころとなる学校づくりが重要で、

それが防災にもつながると考えている。今後、しっかりと地域の皆様と、また教育委員会で議論を進め、より具体性のある、新しい学校づくりにチャレンジしていきたい。



◆公会堂について

**Q** 小松市の中心部に位置する公会堂は60年以上にわたり市民に親しまれ、さらには県内の多くの方にも認知されるランドマークである。その最後をしっかりと見送ることは、現在行政に携わる者としての誇りであり、市民の皆様への感謝を形にする一つの方法だと思うが、お別れ会のようなイベントを開催することはできないか？

**A** お別れ会は、解体の時期を見て開催したいと考えている。内容は今後詰めていきたい。

子育て世代の負担軽減を！  
物価高騰・実質賃金低下で



きのした ひろゆき  
木下 裕介  
議員

一問一答



動画でチェック

◆会計年度任用職員の安定雇用を

**Q** 人事院は6月、非常勤職員の任用期間(3年目公募)を廃止した。これにより会計年度任用職員も自治体の判断で継続して雇用できることが明確にされた。この決定をどう受け止めているか。

**A** 円滑な公務運営に資すると思われる。また、新たな求職者を排除しないよう留意する必要もある。

**Q** 人事院の決定を好機として、3年目公募を撤廃してはどうか。

**A** 継続性が必要な業務や要資格者の確保が困難な職務については状況に応じて再度の任用の上限回数を拡大していきたい。

◆負担が重い学校教材と就学援助

**Q** 子育て世帯にとって学用品の負担は重いという声が寄せられた。憲法26条「義務教育はこれを無償とする」の理念を具体化し、子供たちが平等に教育を受けられるよう学用品の無償化を求める。

**A** 支援が必要な家庭については就学援助で対応しており、教材費の無償化は現在のところは難しい。

**Q** 物価高騰と実質賃金が下がる中、就学援助の認定基準を拡大する必要があるのではないか。

**A** 他市の状況などを考慮した上で、慎重に検討を行っていきたい。

◆高額なランドセルについて

**Q** 年々ランドセルが高額になっているが、代替としてリュックの使用も可能か。

**A** ランドセルの使用規定はなく、リュックも可能。

**Q** ランドセルの使用規定がないのであれば、保護者にリュックも可という通知を出してはどうか。

**A** リュックも可ということが保護者に伝わるよう変えていきたい。

◆南消防署と粟津温泉出張所

**Q** 築42年の温泉出張所と築39年の南消防署を今後、一体的に整備すべきと考えるが、見解は。

**A** 将来の南部地区の人口バランスや道路アクセス、近隣市との消防広域化を踏まえた検討が必要になる。

◆東部消防防災ステーションの役割について

**Q** 概要と機能、設備について。

**A** 重症者の救急搬送の迅速化や地域防災力のさらなる強化を図ることを目的とし、本年10月8日から運用開始。災害用ヘリポート等4つの機能と、移動式資機材倉庫等4つの主要設備を備えている。

**Q** 移動式資機材倉庫（訓練ハウス）とは。

**A** 建物への屋内進入や放水、人命救助、緊急脱出の訓練が可能。

◆より高度な防御訓練を行うために

**Q** 職員、分団員の訓練内容と連携した訓練は。

**A** 職員は最新の消火技術の習熟や、職員が負傷しないための訓練を実施。分団員は、訓練ハウスを活用したより実戦的な建物火災の延焼防止活動が可能。今後はそれぞれの連携強化を図る訓練も充実させていきたい。

◆現場で役立つ訓練を

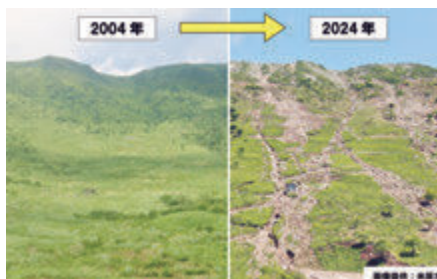
**Q** 教導専門部署を設置すべきだ。

**A** 総合的な消防力を確保しながら人員配置する必要があるため、消防大学校等で高度な技術を習得した本市職員が監修し、効果的な連携訓練を研修していきたい。

◆獣害対策について

**Q** 鹿の捕獲状況、生息範囲と現時点での被害は。

**A** 令和5年度に市内で26頭捕獲。生息範囲は、平成15年に福井県との県境付近から南加賀地域へと分布を広げている。農業、林業への被害は今のところ少ない。



伊吹山での鹿による食害

地域防災と消防団の連携についてと獣害対策について



よしむら のりあき  
吉村 範明  
議員

一問一答



動画でチェック

◆マイナス入札方式

**Q** マイナス入札のやり方。

**A** マイナス入札は、土地評価額から建物解体費用を差し引いて予定価格を設定した際に、建物解体費用が土地評価額を上回り、予定価格をマイナスとして入札するもの。土地売却価格と建物解体費用を合わせて入札し、入札の結果、建物解体費用が土地売却価格を上回るときは、その差額を市が負担する。

**Q** 建物解体を伴う条件つき入札について。

**A** 土地評価は、路線価と不動産鑑定士の評価を基に、造成費等を考慮し、土地売却価格を算定する。建物等の解体・撤去費も民間事業者の見積りや専門家の意見を基に限度額を設定する。これらを用いて予定価格を設定し、今議会で計上している債務負担行為額を限度として、入札の適切化を確保していく。

**Q** 今後の対象となる公共施設は。

**A** 老朽建物の解体と公有地売却を一括で行うことで、民間での早期の土地利用が可能となり、未利用の旧保育施設や旧市営住宅なども活用できないか検討している。

**Q** 市街化区域でもマイナス入札方式はありうるか。

**A** 解体処分価格の上昇や土地の形状など様々な条件による土地の評価によっては、市街化区域でもマイナス価格になる場合があると考えるが、単にマイナスかプラスかではなく、コスト抑制と早期解体・土地利用が期待できることがこの制度のポイントである。

◆学校訪問によるオープンダイアログについて

**Q** 市長の学校訪問によるオープンダイアログ（対話）の所感は。

**A** 学校に行き素直に感じたことを大切にしたい。子供たちにとってもオープンダイアログを通じて感じたことを大切に、小松で頑張っていこうという機会となれば良い。

マイナス入札方式による公共財産跡地活用



かたやま しんじろう  
片山 瞬次郎  
議員

一問一答



動画でチェック

# 予算決算常任委員会総括質疑

## 令和6年度12月補正予算

### 小松志士の会



木村賢治 委員



動画でチェック

#### ◆町内会等活動・施設整備支援費(災害)

##### Q 自治公民館再建支援事業とは。

A 被災した公民館等の建て替えや修繕等費の4分の3の補助を上限なしで行うもの。

##### Q 地域コミュニティ施設等再建支援事業とは。

A 被災した神社等の建て替えや修繕等費の4分の3の補助を上限1,200万円で行うもの。

##### Q 共同墓地復旧支援事業とは。

A 町が所有する被災した共同墓地の通路や擁壁等の復旧費に対し2分の1の補助を上限1,200万円で行うもの。

##### Q 過去に遡って対象になるか。

A 令和6年1月1日の地震発生に遡って対象としている。

##### Q 来年度予定している場合は。

A 来年度以降の予算計上も予定している。

##### Q 予算を超えた場合は抽選か。

A 追加の補正予算で対応する。

##### Q 写真等を撮っていない場合は。

A 事業内容の実施が分かる書類を提出していただくことになる。



濱口淳也 委員



動画でチェック

#### ◆庁舎相談機能等整備費

##### Q 教育研究センターの公園外への機能移転に伴う工事について。

A 教育研究センターの相談部門及びふれあい教室を庁舎西側車庫棟の2階に移転し、相談室は市の各種相談業務との共用も含め合計7室を整備する。また、防音対策として、建具の二重サッシ化、空調設備の整備、トイレの改修等を行い、安心して相談できる環境を整えていく。現在、2階にある防災用備蓄庫は、1階の公用車庫の一部に移転する予定。

### 自民党こまつ



川崎順次 委員



動画でチェック

#### ◆学校給食費

Q 全国で先駆けて実施した無償化。来年度の食材を年度内発注とのことだが、全ての食材か。

A 年間契約を行うものと来年度1学期使用食材について、今年度内に契約を行う。

##### Q 食材高騰の影響は。

A 1食当たり、小学校315円から324円、中学校375円から386円に高騰。

##### Q 冷凍の加工品等こういった形での1年分か。

A 冷凍食品は学期ごとの契約。食材が届くのは、生鮮食品は当日、冷食等加工品は前日には届く。

##### Q 給食費無償化で、家計の負担軽減はどのぐらいか。

A 年間で1人当たり、小学生約6万円、中学生7万円強の見込み。

##### Q 給食無償化を全小中学生に拡大のとき、質が落ちたやまずくなったのではないかというデマが聞き漏れてきた。今まで以上においしい給食の提供を。

A おいしい給食を負担なく食べてもらうという原理原則をしっかりと確保しながら、必要な食材費は予算措置し、おいしい給食を提供し続けられるようにしていきたい。

#### ◆災害復旧費

##### Q 今回補正の追加分で先は見えるのか。

A 能登半島地震に伴う各施設の災害復旧は、令和7年度中の完成を目指したい。

#### ◆市単道路整備費

##### Q 町内会からの要望をしっかりと状況判断して進めていくことが必要。

A 優先度を判断し、効率的な整備となるように町内会と調整しながら進めていく。

### 無 会 派



橋本米子 委員



動画でチェック

#### ◆認定こども園だいいち整備費

##### Q これまでの歩みと予算内容は。

A 現園舎は建設から約50年が経過。予算の主な使途は新園舎の設計業務委託費。

##### Q 幼保連携型認定こども園への移行で期待されるものは。

A ハード、ソフト両面で教育・保育機能の拡充を図っていく。

#### ◆庁舎相談機能等整備費

##### Q 庁舎西側車庫棟の整備内容は。

A 2階にふれあい教室や相談室などを整備する。

##### Q ふれあい教室の活用実績は。

A 通室利用は月平均24.3人。

# 常任委員会 審査報告

## 予算決算常任委員会

### 議案第79号 令和6年度小松市一般会計補正予算(第5号) について

#### ■防災体制強化費 (5,000千円)

災害備蓄用飲料水の購入及び保管料等に係る費用であり、白山水流の製造・販売終了に伴い、今後は入札により購入予定とのことです。

災害時の飲料水のペットボトルについては、容器の固さや重さなどにも配慮し、扱いやすいものにしてほしいとの意見がありました。

#### ■町内会等活動・施設整備支援費(災害) (71,000千円)

能登半島地震により被災した町内会等自治会が実施するコミュニティ再建を目的とする事業への補助です。

自治公民館再建支援事業は、被災した自治公民館等集会所の建替・修繕等に要する経費に対し補助率3/4、上限を定めず支援を行うもの、地域コミュニティ施設等再建支援事業は、被災した地域のコミュニティ維持のために、建替・修繕等に要する経費に対し補助率3/4、1,200万円を上限として支援を行うもの、共同墓地復旧支援事業は、通路や擁壁等共有部分の復旧、共有部分に倒壊した墓石の移設に要する経費に対し補助率1/2、1,200万円を上限として支援を行うものです。

これらの事業を実施するにあたっては、各町内会からの申請の被災内容によって県への確認が必要となることから、県との連携はもとより、コミュニティの維持につながるよう、できるだけ地域の要望に応える体制を求めました。

#### ■私立こども園等運営費 (430,000千円)

私立認定こども園34か所、私立保育所1か所への施設給付になります。施設給付は国の定めた公定価格に基づき算定されているが、令和6年度の人事院勧告に伴い、公定価格が増額されたため当該費用を計上するものです。

#### ■公的介護施設等整備費 (11,751千円)

1つ目に、認知症対応型グループホーム1か所において、国の「地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金」を活用して防災改修を行うことが決定し、市が国からの交付を受けてその全額を事業所へ交付するものです。2つ目として、介護事業者が国の交付金を受けて、かつて取得した施設を他の法人に有償譲渡したことに伴い、財産処分制限期間の残存年数に応じて、国庫へ補助金の返還義務が生じることから、事業者より返還を受け、そ

の全額を国へ納付するものです。

#### ■学校給食費(債務負担行為548,000千円)

学校給食費に係る食材費について、令和7年度で計上予定の予算のうち、年間契約を行うもの及び1学期に使用する予定の食材について、4月からすぐに使用、調達する必要があることから、前年度中の契約となり債務負担を行うものです。

物価高騰の中、1等米の使用や蛍米の提供、小松産の野菜を使用しやすくするなど、質の高い学校給食の提供を行い、その成果として毎年児童生徒に実施している学校給食アンケートでは、約96%が「給食はおいしい」と回答しているとのことです。また、給食費無償化によって、年間の家計の負担軽減額は、小学生で約6万円、中学生では7万円強と見込まれており、家計にとって有益であり、今後も引き続き、質の高い、おいしい給食を提供してほしいとの意見がありました。

#### ■現年発生公共土木施設災害復旧費 (80,000千円)

令和6年能登半島地震により被害があった道路について順次復旧工事を行っているところですが、新たに道路が沈下し通行に支障が生じた箇所について、既決予算の範囲での対応が困難となったため、増額補正を行い、速やかな道路施設の復旧を目指すものです。

除雪の際には、道路の陥没等により重機を傷める可能性があるため、注意しながら除雪を実施してほしいとの意見がありました。

### 議案第83号 小松市手数料条例の一部を改正する条例について

宅地造成及び特定盛土等規制法施行に係る手数料を定めるため、条例改正を行うものです。

宅地造成及び特定盛土等規制法は、令和5年に施行され、危険な盛土等を全国一律基準で包括的に規制するものです。法の施行を受け、盛土等の崩落が人家等に被害を及ぼしうる区域を規制区域として石川県が指定し、権限移譲により小松市が盛土等の許可を行うこととなったものであり、盛土等を行う際の許可申請手数料を条例にて定めるとのことです。手数料は、石川県内統一の金額であり、土地の面積区分ごとに設定されるということです。

内容周知については、現在、県や市のホームページに掲載済みであり、今後、建設業協会、宅建協会等へのお知らせを予定しているとのことですが、併せて町内会長へも周知をしてほしいとの意見がありました。

また、過去に行われた盛土等についても今後問題が起らないように、場所等の把握を求めました。

### 議案第95号 令和6年度小松市一般会計補正予算(第6号) ほか6議案について

令和6年人事院勧告に準じた職員の給与改定を実施すべく、民間給与の状況を踏まえ、一般職員の月例給については平均3.0%の引上げ、また、期末・勤勉手当については、一般職員が期末・勤勉手当をそれぞれ0.05月分引上げ、特別職等が期末手当を0.05月分引上げるため所要の補正を行うものです。

一部の委員から、特別職等の期末手当引上げには反対との意見がありました。

## 総務企画常任委員会

### ■未来型図書館等複合施設の基本計画策定について

今回、施設のゾーニングや駐車場計画、市制90周年の節目となる2030年の開館を見据えた事業スケジュール等について整理し、方向性を取りまとめたものであり、年度内の策定に向け引き続き検討を進めていくとのことです。

配置計画(ゾーニング図)においては、芦城公園とつながる開放的な空間、複合機能が融合し多様な活動や情報と出会うことのできる空間、誰もが思い思いに自分の居場所を見つけることのできる多様性に富んだ空間をコンセプトとし検討しているとのことです。

年間利用者数は、今後、管理運営計画作成の中で詳細に検討を進めていくとのことですが、駐車場検討にあたって約40万人と想定しており、駐車場の不足分を確保するため、現在の年金事務所前駐車場に約180台が収容できる2層3段の立体駐車場を計画しているとのことです。なお、立体駐車場は、未来型図書館との一体感が感じる外観とし、周辺景観にも配慮するとのことです。

事業手法については、PFI方式が有力と考えており、設計・建設・管理運営の事業全体を一括して発注し、特別目的会社(SPC)との契約締結を想定しているとのことです。

SPCへの委託となった際に、博物館は高い専門性が必要であるため民間運営で対応できるのか危惧され、現在いる学芸員や司書のあり方を含めて検討していくよう望む意見がありました。

### ■小松市ライドシェアについて

ライドシェアのアプリ普及のため、令和7年1月16日から3月29日の期間において、第2弾無料キャンペーンを実施するとのことです。第1弾の実績は、1日平均利用人数が、キャンペーン前の5.0人に対し、11.6人の利用であったとのことです。また、アプリを改善し、利用

者の代わりに、飲食店等が代理で予約できる機能を追加することです。

飲食店等が代理で予約する際には、利用者も飲食店も使いやすい仕組みとなるよう求める意見がありました。

### 議案第102号 小松市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について

本案件は、令和6年人事院勧告に準じた職員等の給与改定について、本年4月1日に遡った月例給及び期末勤勉手当の改正、また、令和7年4月1日から一般職の各種手当制度の見直し等を行う条例改正です。

各種手当制度について、扶養手当は、配偶者の扶養手当を段階的に廃止し、子の手当額を拡充、通勤手当は、公共交通機関利用時等の支給上限を5.5万円から15万円に引上げるなどの改正を行うものです。

## 福祉文教常任委員会

### 議案第85号 小松サン・アビリティーズ条例の一部を改正する条例について

小松サン・アビリティーズの大規模改修による体育館空調設備に伴い、使用料について所要の改正を行うものです。

新設する体育館における空調使用料については、小松市武道館の使用料の考え方を参考に、エネルギーコストを基に算出し、1時間あたり1,500円とするものです。

当施設は障害者の機能回復、健康増進を主たる目的とした施設であることから、障害者利用の場合の体育館の空調使用料については、施設使用料と同様に100%減免を予定しているものです。ただし金額が大きいこともあるため、利用状況について注視していく考えであるとのことです。

100%の減免は、障害者の利用において非常に有益であると評価するもので、一般の利用者に対しては、空調使用料についての周知をより広く行うように求める意見がありました。

### ■令和6年度勝木賞について

勝木賞は、本市出身の聴覚生理学者である故 勝木保次博士のご厚志で設けられた基金を活用し、人文及び自然科学に対する学習意欲が旺盛で、成績が特に優秀な生徒を顕彰し、もって科学の発展に寄与することを目的として創設された賞です。

対象者については、中学3年生及び義務教育学校第9学年に在籍する生徒であり、選考については、学校長から推薦された者を選考委員会による審議を経て、教育



委員会、市長と協議し決定するものです。

選考委員会は12月27日に、授与式は令和7年2月3日に予定しているものです。

中学生や一般の大人の中には、勝木賞に関わった人を除くと、この賞について知らない人もいると思われるので、このすばらしい賞について、もっと多くの市民や中学生に伝えていってはどうかとの意見がありました。

## 経済建設常任委員会

### ■小松市内の小河川におけるPFOS等を対象とした継続水質検査結果について

PFOS、PFOAは有機フッ素化合物の一種で、過去には金属メッキ処理剤や泡消火剤等に利用されており、環境中で分解されにくく、高い蓄積性があることから、現在は製造・輸入等は禁止されているとのことです。10月に市内で水質検査を実施した結果、2か所で暫定指針値を上回り、今後経過観察を行っていくとのことです。

今後具体的な影響が出てきたり、また今回の結果によ

り不安に思われる方がいるかもしれないため、PFOS等が適切に保管されているか、特に保管量や保管場所を市として把握するべきではないかとの意見がありました。

### ■小松市文化財保存活用地域計画（案）にかかるパブリックコメントの実施について

令和4年度に策定協議会を立ち上げ、地域への聞き取り調査やワークショップを開催し、文化財所有者、専門家など多くの方の意見を集めながら、計画の策定を進めているとのことです。令和7年3月の完成を目指し、市民からの意見を反映するためにパブリックコメントを実施するとのことです。

歴史文化遺産保存活用区域に選定されているエリアには那谷寺や観音下等の日本遺産構成文化財が多くあり、先日行われた那谷寺の夜間ライトアップのように、観音下の石切り場でもライトアップ等のイベントを実施するなど、文化財を活用することで更なる人流を生み出していけるような取組を行ってほしいとの意見がありました。

また、パブリックコメントに寄せられた意見を当委員会へ報告してほしいとの意見がありました。

## 特別委員会 調査報告

### 小松基地・空港対策特別委員会

#### ■在日米軍再編に係る訓練移転について

現時点で小松基地における訓練計画はないとのことです。ありますが、訓練計画については、速やかに情報提供するように求めました。

#### ■航空機の小松飛行場への緊急着陸について

発生日時については、令和6年12月10日の午前11時30分頃、場所は、小松飛行場から北150kmの洋上となります。具体的な状況は、午前11時10分頃に、小松飛行場を離陸したF-15Jが午前11時30分頃、脚系統の不具合を確認したため、午後0時10分頃に小松飛行場に着陸したものです。なお、操縦者の負傷及び航空機の被害はなかったとのことです。午後0時9分から20分頃までの間、小松飛行場の滑走路を一時閉鎖した影響により、民間航空機2便の離陸に最大約20分の遅延が発生したとのことです。

先月の11月11日にも、不具合によりF-15Jが小松飛行場に緊急着陸しており、同様の事態が続いていることが懸念されます。当委員会としては、小松基地に対し、更なる注意を払い、安全対策を徹底することで、再発防止に努めることを求めました。

### 公共施設マネジメント検討特別委員会

#### ■「安宅の関」こまつ勸進帳の里及び安宅公園の一体的な管理運営について

安宅の関こまつ勸進帳の里施設及び安宅公園を対象に、現在実施中のサウンディング型市場調査について報告がありました。

調査は、安宅エリアのさらなる魅力向上のため、施設及び公園の一体的な管理運営について、指定管理の導入も含めた管理運営方針に反映していくことを目的に実施しております。今月末に実施する民間事業者との個別対話では、一体的な管理運営への参加意欲、施設の課題や将来性、管理運営に参画するための条件や課題などについて聞いていくとのことでした。

安宅の関周辺は、市の施設以外にも難関突破で有名な安宅住吉神社や松林、安宅海岸からの景観などがあることから、周辺全体を周遊してもらえる視点で進めると良いのではないかと意見が出されました。



# 議会の活動を紹介します

## 全国市議会議長会基地協議会 概算要求前要望活動



基地関係国会議員へ要望書を手渡す

**開催日** 令和6年11月26日(火)

全国市議会議長会基地協議会の正副会長にて、次年度概算要求前の要望活動として、防衛省や防衛関連国会議員を訪問。全国各地、各基地それぞれの要望や課題を伝え、次年度予算に反映していただくよう要望しました。

### <10～12月の主な議長日程>

- 10/3 (木) 全国市議会議長会基地協議会  
正副会長・監事・相談役会
- 4 (金) 中華民国(台湾)113年 国慶日
- 23 (水) 全国市議会議長会基地協議会 北海道部会 総会
- 24 (木) 全国市議会議長会基地協議会 東海部会 総会
- 28 (月) 全国市議会議長会基地協議会 関東部会 総会
- 31 (木) 全国市議会議長会基地協議会  
九州・沖縄部会 総会
- 11/7 (木) 全国市議会議長会基地協議会 北信越部会 総会
- 14 (木) 北陸新幹線(敦賀・大阪間)建設促進 総決起大会
- 15 (金) 中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会 総会
- 19 (火) 全国市議会議長会基地協議会 第110回理事会
- 26 (火) 全国市議会議長会基地協議会  
概算要求前要望活動
- 27 (水) 高知県宿毛市との姉妹都市協定調印式

## 高知県宿毛市との姉妹都市協定調印式



**開催日** 令和6年11月27日(水)

高知県宿毛市との姉妹都市協定調印式が行われ、小松市として初の国内自治体との姉妹都市となりました。

宿毛市は本市と大変縁深く、大正10年(1921年)に創立された「小松製作所」の創業者「竹内明太郎」氏のご出身地が宿毛市であり、これまでも交流を深めてきております。

今回の協定締結を機に、両市での子供たちの交流や、議員間交流を行い、広く交流が深まることを期待しております。

## 小松市私立教育・保育施設長会と 福祉文教常任委員会との意見交換会

**開催日** 令和6年10月21日(月)

私立認定こども園施設長との意見交換会が開催され、協議のなかで保育現場が抱える課題や取組事例等の報告があり、各施設が連携し課題の解決に向けて取り組む機運づくりに繋がりました。また食事に関しては、園児一人ひとりのアレルギーにきめ細やかに対応されているとのことであり、園児の生活面や食事面での、安心・安全が担保されていることを確認できました。

## 小松市町内会連合会役員と 正副議長、各委員長との意見交換会

**開催日** 令和6年11月22日(金)

「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」等の河川改修に伴う事項やJR鉄橋及び小松新橋の架け替え、国道8号線の4車線化整備の進捗、安宅新～空港周辺再開発に伴うアクセス道路の整備における町内の所有者不在土地への対応等、現状と今後の計画について、町内会連合会役員と意見交換を行いました。町が抱える問題を話し合うことができ、市民の生活向上のために大変有意義な意見交換会となりました。

# 行政視察報告



## 議会運営委員会

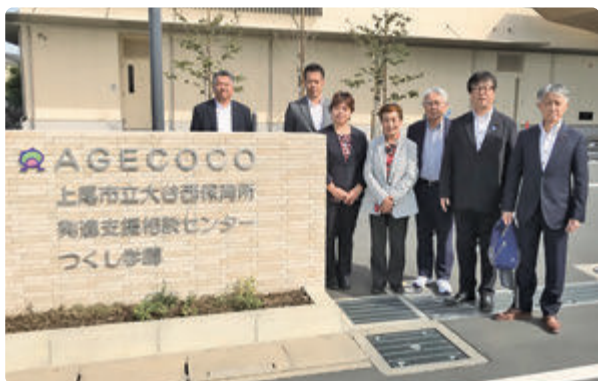
視察先 福岡県筑紫野市、佐世保市

期間 11月12日(火)～14日(木)

視察項目

- ①【筑紫野市】議会改革、開かれた議会について
- ②【佐世保市】議会運営におけるバリアフリー対策について

## 福祉文教 常任委員会



視察先 埼玉県富士見市、上尾市、東京都葛飾区、足立区

期間 10月29日(火)～31日(木)

視察項目

- ①【富士見市】フレイルチェック事業、STEM教育について
- ②【上尾市】子ども・子育て支援複合施設 (AGECOCO)について
- ③【葛飾区】東京シューレ学園について
- ④【足立区】足立区立第四中学校の夜間学級の取組について

## 公共施設 マネジメント検討 特別委員会

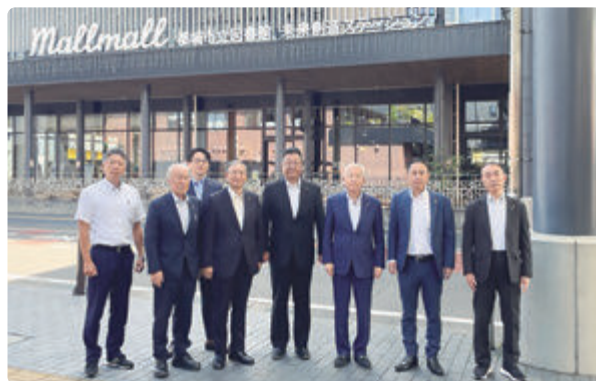
視察先 滋賀大学、滋賀県米原市、長浜市

期間 10月16日(水)・17日(木)

視察項目

- ①【滋賀大学】公共施設マネジメントにおける公民連携手法について
- ②【米原市】グリーンパーク山東について
- ③【長浜市】さざなみタウンについて

## 総務企画 常任委員会



視察先 鹿児島県鹿児島市、南九州市、霧島市、宮崎県都城市

期間 10月8日(火)～10日(木)

視察項目

- ①【鹿児島市】防災対策全般について
- ②【南九州市】知覧特攻平和会館について
- ③【霧島市】リノベーションまちづくりについて
- ④【都城市】中心市街地中核施設「Mallmall」について

## 経済建設 常任委員会



視察先 宮城県仙台市、山形県村山市、山形市

期間 10月23日(水)～25日(金)

視察項目

- ①【仙台市】東日本大震災からの復興について
- ②【村山市】Link MURAYAMAについて
- ③【山形市】新規就農者支援事業について



# 12月定例会の議決結果

## ■全会一致で議決された議案

	議案名	議決結果
予算案 (4件)	第79号 令和6年度小松市一般会計補正予算(第5号)	可決
	第80号 令和6年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	//
	第81号 令和6年度小松市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	//
	第82号 令和6年度小松市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	//
条例案 (5件)	第83号 小松市手数料条例の一部を改正する条例について	//
	第84号 小松市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	//
	第85号 小松サン・アビリティーズ条例の一部を改正する条例について	//
	第86号 小松市都市公園条例の一部を改正する条例について	//
	第87号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	//
その他 議案 (7件)	第88号 町の区域及び字の名称の変更について	//
	第89号 工事請負契約について	//
	第90号 工事請負契約について	//
	第91号 工事請負契約について	//
	第92号 工事請負契約について	//
	第93号 指定管理者の指定について	//
	第94号 専決処分の承認を求めることについて	承認

	議案名	議決結果
市長提出 追加議案 (6件)	第96号 令和6年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決
	第97号 令和6年度小松市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
	第98号 令和6年度小松市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	//
	第99号 令和6年度小松市水道事業会計補正予算(第2号)	//
	第100号 令和6年度小松市下水道事業会計補正予算(第2号)	//
	第101号 令和6年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算(第1号)	//
議員提出 議案 (2件)	第11号 災害公営住宅の建設等に対する更なる支援を求める意見書	//
	第12号 学校施設における防災対策への更なる支援を求める意見書	//
その他 案件 (2件)	諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
	議員の派遣について[宿毛市との姉妹都市協定締結に基づく議員間交流]	可決

## ■賛否が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 退は退席 欠は欠席

議案名	会派自民										小松志士の会		自民党 こまつ		無会派			議決結果						
	灰田 昌典	表 靖二	高野 哲郎	吉本 慎太郎	梅田 利和	南藤 陽一	岡山 晃宏	村中 洋	吉柴 文悟	宮西 健吉	中西 肇	濱口 淳也	木村 賢治	川崎 順次	吉村 範明	深田 博智	橋本 米子		片山 瞬次郎	木下 裕介	斎藤 和美	東 浩一		
予算案 (1件) 第95号 令和6年度小松市一般会計補正予算(第6号)	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例案 (1件) 第102号 小松市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※新田寛之議長、東浩一副議長は小松市議会運営規約第4条に基づき、会派に所属していません。新田寛之議長は採決には加わりません。

## 3月 定例会のお知らせ

次の定例会は2月21日から3月13日までの21日間です。

※詳細は議会ホームページをご覧ください。

2月21日(金)	10:00~	本会議	開会・市長説明
3月3日(月)~5日(水)	9:30~	本会議	一般質問(3月4日(火)は13:30~)
6日(木)	9:30~	委員会	各常任委員会(分科会)
10日(月)	10:00~	委員会	特別委員会
13日(木)	13:30~	本会議	委員長報告・採決・閉会



小松市イメージ  
キャラクターカブッキー

## 読者の声をお寄せください

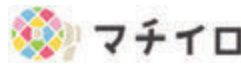
議会だよりをお読みいただいたご感想をお聞かせください。

右記QRコードを読み込んでいただき、「氏名」「連絡先」等必要事項を入力の上、お送りください。



## 議会だよりが

スマホで読める!



スマートフォン用広報紙配信アプリ「マチイロ」では、いつでもどこでも手軽に議会だよりを読むことができます。

「マチイロ」ダウンロードはこちらから▶



## サポートネット

日時●2月15日(土)・3月22日(土)・4月26日(土)  
9時~11時30分

## 専門家による無料相談会

会場●小松商工会議所

問い合わせ先:担当 竹内 TEL 0761-22-9990



不動産鑑定士 弁護士 中小企業診断士 社会保険労務士 司法書士 行政書士 税理士 行政書士 弁護士 土地家屋調査士 行政書士  
澤矢 豊伸 TEL0761-21-1122 杉本 昌之 TEL0761-24-3633 竹内 広幸 TEL0761-22-9990 田中 一生 TEL0761-48-7040 谷口 勇一 TEL0761-76-5503 中西 祐一 TEL076-256-5413 山崎 豊 TEL0761-20-3175

- ◆法律
- ◆債権回収
- ◆多重債務
- ◆完済過払
- ◆税金
- ◆登記
- ◆不動産評価
- ◆人事・給与
- ◆会社設立
- ◆相続
- ◆事業承継
- ◆農地転用・開発行為
- ◆事業計画
- ◆公的年金 等の

ご相談をお気軽に【秘密厳守】  
私たちが相談に応じます。